

名古屋SF読書会 25 2026・8・8

漂泊の星舟 The Deep Sky by Yume Kitasei 北清夢

名古屋SF読書会URL <https://sciencefiction.ddns.net/sf2/>

【ネタバレあらずじ】※年代順に再構成しました。

打ち上げ13年前 アメリカで山火事が起き、アスカの家が焼ける。愛犬イヌの死。

打ち上げ11年前 避難キャンプで二年間過ごした後、街はずれのホテルへ。兄がプールで事故死。アスカは両親と日本に来るが、「日本は故郷でありながら故郷ではない」という思いに囚われる。イーヴンスター計画へ応募し、合格する。

打ち上げ10年前 800人の候補者のうち選ばれるのは80人。日本からの候補生は15名。作曲家のミキ、イスラエル代表の勝気なルースらと知り合い、アスカは、フランス代表のトリーナ、ミキの3人で過ごすようになる。ロボット工学の天才ラウとも知り合う。

打ち上げ9年11か月前 アスカは母親と話し、環境保護団体「母なる地球を救え(SME)」に母親が参加したことを知る。

打ち上げ9年10か月前 ラウとウィニーが「アメリカ憲法民兵団(MAC)」に襲われる。アスカは初めてシム・チーム・セッションを行い、生きのびる才能が自分にあることを知る。

打ち上げ9年3か月前 ルースがSMEの会合にこっそり参加。ラウはSNSでの発言がもとでアメリカ候補から外れる。アスカ達は、ラウの候補資格復活嘆願書に署名する。アスカ、トリーナ、ミキ、ルースは互いに守り合うことを誓う。

打ち上げ8年11か月前 シム・チーム・セッションで地震後の津波を体験。日本人の親を持ち、日本の災害にも詳しいアスカとガブリエラはすぐに逃げ出すことができた。

打ち上げ8年1か月前 トリーナが不正行為をして、脱落。それを報告したルースとミキが不和になる。

打ち上げ5年4か月前 800人の候補者は600人に減った。アスカはミキと離れ、ルースとともにいた。学校内に男たちが侵入してきたが、アスカを中心に戦い、撃退する。

打ち上げ4年10か月前 アスカは両親と最後の面談をする。

打ち上げ1年2か月前 アスカの父親は前年に亡くなり、母親は横浜に転居。ルースはミキとつきあうようになり、3人の生活に戻る。ナオミの胃に腫瘍が見つかり脱落、日本候補は3人(ミキ、アスカ、ユキ)となる。選抜者が発表され、ミキ、ルース、ラウが選ばれ、アスカは落ちた。

打ち上げ1年前 アスカは母親の家に帰り、イーヴンスター選抜者は沖縄で訓練キャンプを行う。

打ち上げ10か月前 アスカがパン屋にいと、日本の首相がやって来て、ミキの辞退を告げ、アスカに代表者になってほしいと依頼する。アスカは承諾し、沖縄へ行く。アスカは代替要員として、クルーに加わる。ミキからの手紙には「あなたが深い空への細い道を進んでいることをうれしく思う」とあった。

打ち上げ8か月前 訓練が続く。火事のシミュレーションでベッキーはクルーの命を犠牲にして船を守る。

打ち上げ1日前 地球での最後の夕食会に母親を招待したが、来なかった。しかも、事故に遭ったのですぐ帰れという嘘を吐かれる。一方、ホンダからはミキモトの真珠、中野竹子の髪飾り、こけし、折り鶴などを贈られる。

打ち上げ

打ち上げ後10年間、クルーは冷凍睡眠をしたまま過ごす。航行は順調。目覚めてからも平和な日々が続いていたが……。

打ち上げ後3980サイクル(10年330日) 〈フェニックス〉の北区画H-18で不明物が見つかり、アスカとキャットが船外活動を行う。爆発が起き、キャットと船内にいた船長ベッキーと通信員ウィニーが死亡。船は進路を外れる。アスカは助かるが、インプラントの調子が悪く、近くにいる人のデジタル拡張現実(DAR)が見えるようになる。

打ち上げ後3981サイクル 地球では、アメリカと中国の戦争が始まっており、気候変動によるハリケーンでヒューストンが消滅。アスカはガブリエラと話して、彼女の妹が嵐で亡くなったことを思い出す。SMEが〈フェニックス〉爆破の犯行声明を出す。アスカは、事故時のカメラ映像を見て、爆弾がツールキットにあったことに気づく。ツールキットの残りの爆弾は無効化され、無線で遠隔操作されていたことがわかる。アスカは食堂モジュールのダストボックスからラウのドリルを発見。指紋検出を行い、受信機のケースに三つの指紋を見つける。それはラウの指紋だった。地球では、中国が沖縄を攻撃し、フィリピンはアメリカ側に参戦。ガブリエラはこの計画自体が無駄だとアスカに語る。ラウは監禁され、船はコース修正を行う。後部エンジン三基の位置をずらし、再点火する案だ。ルースはAI・アルファを犯人ではないかと疑う。アスカはルースと協力してアルファのシステムをダウンさせる。その中でエンジン移動と再点火を行うが、一基がメルトダウンを起こしたため分離。ミッションは失敗したが、時間を稼ぐことはできた。



打ち上げ後3982サイクル アルファのチェックが終わり、再起動する。アスカのDARがまだおかしいので、ガブリエラに直してもらうが、兄やキャットなど死者の幻影が見えるようになる。ルースが母親と連絡をとっていたことが判明。ルースと話していると、イン・ユエたちが来て、二人を拘束する。アスカの母親がテロ容疑で逮捕され、管制センターが二人の拘束を命じたのだ。アスカとイン・ユエの話の中で、ベッキーが精子提供者決定システムをいじったことが明らかになる。ウィニーはそれを知り、食堂でベッキーを追及していたのだ。ルースは釈放されたが、アスカはそのまま。AMと話し、AMにも辛い過去があったことを知る。

打ち上げ後3983サイクル アスカはアルファが鳥の話題を出して、アスカにヒントを出していたことに気づく。アスカのDARはアルファに操作されていた。アスカの拘束中にウォーキーが破壊され、アスカの疑いは晴れる。アスカの推測通りに、農業モジュールで遠隔起爆装置が発見された。イン・ユエは自ら切開してインプラントを取り出し、アスカとルースのインプラントも取り出す。ララはインプラントを無効化する装置を作っていた。アスカは、手製エンジンをホッパーで飛ばし、エンジンに点火してコースに戻す案を提案し、実行されるが、ホッパーが起動しない。妨害者はガブリエラだった。すべては彼女が、船を地球に戻そうとしてやったことだった（ウォーキーだけは錯乱したAMが破壊した）。ガブリエラは誰も殺すつもりはなく、爆弾入りのツールキットはアスカが船外に固定するはずだった。それをキャットが身につけたため、悲劇が起きたのだ。妨害が解除され、ホッパーを起動するが、爆発してしまう。ヤセミンが産気づく。アスカはガブリエラと話し、自身の歴史哲学を語る。ガブリエラはコースに戻る案を一つ思いつく。

打ち上げ後3984サイクル 残っている爆弾を船外に取りつけ、再び爆発させ、船をコースに戻すという案だった。アスカとルースが船外活動を行い、何とか成功する。船はコースに戻り、ヤセミンも無事出産した。「わたしたちは希望で満足しなきゃならない」とアスカは思い、15年後に届くはずの母親への手紙を書く。（The End）

【〈フェニックス〉の主なクルー】

アスカ・ホシノ=シルバ……日本代表。代替要員。日本人とアメリカ人の親をもつ。母親とうまく行かず、常に自信がない。

ベッキー・マクマホン……アメリカ代表。船長。妊娠中だったが、事故死。MACのメンバーだった。

イン・ユエ……中国代表。第一副船長。長身で面長な顔。双子を妊娠中。ベッキーの死後、船長を務める。

キャット……オーストラリア代表。薄青い目に完璧なそばかす。強烈な自信家。船外活動中に事故死。

ヤセミン・ドガン……トルコ代表orスペイン代表（?）。主任エンジニア。背が高く、太くて濃い眉。妊娠中。

ルース・シーガル=ブラウン……イスラエル代表。通信担当。とにかく勝気でマイペース。子供の頃に細菌感染で片脚を切断している。

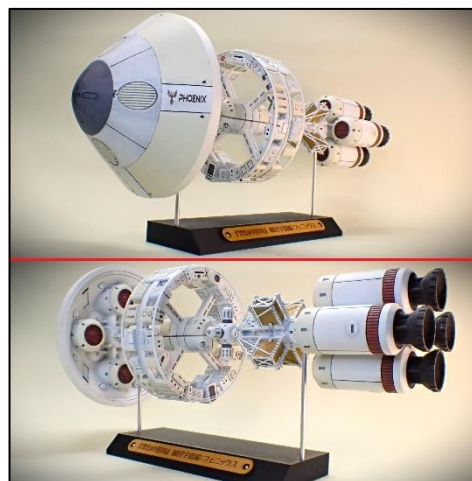
ガブリエラ・オタ……フィリピン代表。日本人とフィリピン人の親をもつ。プログラム担当。

ハオ・ユー……中国代表。医療スタッフ。

AM……フランス代表。短く太い茶色の髪に筋肉質の身体。もとレスリング・チャンピオン。

ララ・ウィリアムズ……ワイルドカード枠。船のボットエンジニア。浅黒い肌で背が高い。ルースと交際中。

ウィニー……通信担当。小柄で長距離走向きの身体つき。妊娠中だったが、事故死。



フリスクPさん制作 〈フェニックス〉号

【鳥類図鑑】※数字は本書の章番号を示す。

3 キョクアジサシ……最も長距離の渡りをする鳥の一つとして知られ、1年のうちに北極圏と南極圏の間を往き来する。

9 アメリカカケス……何千もの木の実や種を貯蔵して再び見つけられる知能の高い鳥。

15・23 カッコウ……自分の卵をほかの鳥の巣に産んで育てさせる托卵を行う。

29 コマドリ……巣の中の托卵寄生を見つけるのが得意。

37 伝書鳩……たとえ数千キロの距離でも家に戻って来られる。

42 アズマヤドリ……小枝や貝殻、色ガラスの破片などで巣を飾る。

58 カラス……車を利用して木の実を割ることができるほど知能が高い。記憶力もすぐれている。

MEMO

名古屋 SF 読書会

初心者からマニアまでをモットーにやさしく丁寧、かつ面白い読書会を目指しています。

<https://sciencefiction.ddns.net/sf2/>

【今までの課題本】

- 1 2014・11・22／ル・グイン『闇の左手』
- 2 2015・2・15／ベスター『虎よ、虎よ!』
- 3 2015・7・26／ブラッドベリ『華氏451度』
- 4 2016・1・23／イーガン『ゼンデギ』
- 5 2016・4・29／ハインライン『宇宙の戦士』
- 6 2016・7・30／ベイリー『カエアンの聖衣』
- 7 2016・11・23／レム『ソラリス』
- 8 2017・4・30／ノース『ハリー・オーガスト、15回目の人生』
- 9 2017・8・5／ディック『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』
- 10 2017・12・2／伊藤計劃『ハーモニー』
- 11 2018・4・29／オールディス『地球の長い午後』
- 12 2018・7・21／小松左京『日本沈没』
- 13 2018・12・22／ウィンダム『トリフィド時代』
- 14 2019・4・27／山田正紀『宝石泥棒』
- 15 2019・8・3／クラーク『2001年宇宙の旅』
- 16 2019・12・22／劉慈欣『三体』
- 17 2021・10・3／劉慈欣『三体Ⅲ』（オンライン）
- 18 2024・6・30／飛浩隆『グラン・ヴァカンス』
- 19 2024・10・6／ウィアー『プロジェクト・ハイル・メアリー』
- 20 2025・3・8／アシモフ『鋼鉄都市』
- 21 2025・6・21／ギブスン『ニューロマンサー』
- 22 2025・9・27／春暮康一『一億年のテレスコープ』
- 23 2025・12・27／ブラッドベリ『ウは宇宙船のウ』
- 24 2026・4・18／ヴァーライ『逆行の夏』
- 25 2026・8・8／北清夢『漂泊の星舟』
- 26 2026・12・26 未定

スタッフ&ゲスト紹介

名古屋SF読書会は初心者からマニアまでをモットーにやさしく丁寧、かつ面白い読書会を目指しています。今後もよろしくお願いいたします。(文責・渡辺英)

渡辺英樹 @gonza63

愛知県春日井市で11月よりSF資料館を開館しました。3月にはYouTubeチャンネルも開設。よければご覧ください。

渡辺睦夫

海外SFファン。好きな作家はC・スミス、J・ティプトリー・Jr. B・ベイリー、M・コーニイなど。洋楽ファン。好きなジャンルはパワー・ポップ、オルタナ・カントリーなど。

渡辺啓一 @eleking

大学時代にSF研に在籍して基本を学び、あとはのんびりSFと付き合っています。

舞狂小鬼 (洞谷)

SF、幻想小説、海外文学など何でも読みこなす読書家。作家ではレムとストルガツキー兄弟とバラードと泉鏡花が好き。ブログ「お気らく活字生活」継続中。

中村融／なかむらとおる (翻訳家)

中央大学在学中より海外SFの研究、評論、翻訳など幅広い活動を行う。1987年にジャック・ヴァンスの「五つの月が昇るとき」で翻訳家としてプロデビュー。以降、新作の翻訳紹介、古典の新訳、SF／ファンタジーのアンソロジー編集など、多方面で活躍中。